

「光と色のイリュージョン in 山科」開催

山科区「人づくり」ネットワーク実行委員会が主催する理科教室「光と色のイリュージョン in 山科」が10月30日、京都薬科大学にて開催された。本イベントは山科地区の小学生を対象とした企画であり、理科に対する興味を持つきっかけになればと本学学生実習支援センターが中心となって行われた。当日はあいにくの空模様の中、約300名の応募の中から抽選で選ばれた105名の小学生が参加し、3種類の実験を体験した。白黒写真がカラーで見える補色残像を利用した実験では、白黒写真がカラーで見た瞬間、会場から「オー」という歓声が湧き起こり、上々の滑り出しを切ることができた。続く分光シートを使った光万華鏡の工作では、穴の開け方で模様見え方が変わるので色々試してみるようアドバイスすると大人の想像を超えた美しい模様見える万華鏡を作る生徒もおり、子供の発想力の豊かさに驚かされる一面も見られた。また、インクの成分を台所にある物を利用して分離するクロマトグラフィーの実験では、黒が色々な色へ分離していく様子を観察する生徒から「わあーきれい!!」と、楽しそうな声がいたるところから聞かれた。普段小学生相手の指導を行っていないため不安の中スタートした理科教室であったが、生徒と教員の垣根を越えたりラックスした雰囲気自然の不思議を体験することができた。今回の理科教室を通じて、自然の不思議が身の回りに数多く存在し、これらの不思議を解明してく理科の面白さに少しでも気付いてもらえれば、本学教員として幸いである。

学生実習支援センター 助教 小関 稔



京都新聞 2011年10月31日（月）朝刊に
当日の様子が掲載されました